

解 答 速 報



杏林大学 一般選抜 英語

I

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | (カ) | (キ) | (ク) | (ケ) | (コ) |
| ③ | ② | ① | ② | ④ | ④ | ① | ② | ① | ③ |

II

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | (カ) | (キ) | (ク) | (ケ) | (コ) |
| ② | ③ | ④ | ② | ⑤ | ① | ④ | ① | ④ | ① |

- A. If he spent two years in the U.S., how come he can't speak a word of English?
- B. The advantages of double-income families outweigh the disadvantages.
- C. I went to the salon and I had my hair trimmed a bit.
- D. Unfortunately, power corrupts, and people will do lots of things to get power and stay in power, including doing bad things in elections.
- E. She was so lost in her thoughts she scarcely heard what Terry said.

III

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | (カ) | (キ) | (ク) | (ケ) | (コ) |
| ① | ② | ① | ④ | ① | ② | ① | ② | ③ | ⑤ |

- A. ③-①-⑤-②-④
- B. ⑤-①-②-④-③
- C. ④-①-⑤-②-③
- D. ④-①-③-②-⑤
- E. ④-③-①-⑤-②

IV

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | (カ) | (キ) | (ク) | (ケ) | (コ) |
| ② | ③ | ④ | ② | ① | ③ | ① | ④ | ② | ② |

～講評～

- I 文法・語法の4択問題。(ウ) dwell on ～「～をくよくよ考える」、(コ) for want of ～「～が不足して」など、日頃目にする回数の少ないイディオムかもしれないが、市販の参考書に載っているレベルなので、できるだけ取りこぼしなく進めたい。ただし、(オ) rest assured 「安心している」や(カ) one's favorite 名 ever はやや厳しめの知識である。
- II 整序問題。Eのso形容詞・副詞 that構文のthat省略は気づけなかった受験生もいるかもしれないが、全体として確実に得点したいレベルの出題であった。
- III 文整序を行い、自然な文章・対話を作る問題。例年通り、指示語・接続関係を表す副詞や接続詞・情報の移り変わりに着目して文章構成をすればよい。Bは③these happenings が何を受けるかで迷い、複数の答案の可能性を考えた受験生もいるかもしれない。
- IV 英文1はNIHが発行する記事からの抜粋で、「心理的安全性」について語る英文であった。内容一致2題は問いの文言が明確であったので該当箇所を特定しやすかった。残りの3問は、語句挿入と文挿入であった。前者は論理関係を捉えればさほど苦しむことなく解くことができ、後者は主語の指示語Itを考慮すれば比較的容易に挿入箇所を特定できた。英文2はAshley Ward著The Social Lives of Animalsからの抜粋で、「先導するものに無意識的についていってしまうという動物の特徴」についての英文であった。内容一致を問うのは(カ)のみで、その他は指示語特定、理由選択、語義特定、空所補充であった。どれも、文脈を正確に追うことができている、論理的に読み進められていれば、比較的容易に処理できた。例年は英文1・2ともに文挿入問題があったが、今年は英文2に文挿入はなかった。

問題構成・分量は昨年度と同じであった。

大問IVの読解問題が昨年よりも比較的取り組みやすかったことを踏まえると、合格には70%を目指したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



| | | |
|---|--|---|
| <p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p> | <p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p> | <p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p> |
| <p>個別専門館 麴町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p> | <p>京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985</p> <p>京都市下京区下諏訪町 360</p> | <p>医学部特訓塾</p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p> |